

2024 年度第 2 回理事会報告

第 2 回理事会は、2024 年 9 月 29 日(日)13:30 から東洋大学白山キャンパス(Zoom 併用)で開催されました。出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、松本行真、土居洋平(以上対面出席)、増田聡、松村茂、磯部友彦、井澤知旦、久 隆浩、佐藤彰男、田中晃代、北川博史、石川雄一、山下宗利、野村理恵、大塚俊幸、佐野光彦、川瀬正樹、有馬隆文(以上 Zoom 出席)の各理事です。

議事の概要は次の通りです。

■議題 1 2021 年度事業報告、決算の取り扱いについて

会計監査が終了した後 10 月の理事会で事業報告・決算報告の理事会承認を行うことになりました。

■議題 2 2025 年度事業計画、予算の取り扱いについて

2025 年度に盛り込みたい事項で予算措置を必要とするものがあれば、10 月理事会で審議の上総会に提案することは可能なので申し出て欲しいとの案内がありました。

■議題 3 学会賞の選考

学会賞について次の通り決定しました。

日本都市学会賞(奥井記念賞)を選考委員会の結論通り、次の 2 著に授与することが決まりました。

◎井澤知旦著 『名古屋都市・空間論—消毒された都市から物語が生まれる都市へ—』(風媒社、2023 年 3 月 31 日発行)

◎野坂 真著 『地方社会の災害復興と持続可能性 —岩手県・宮城県の東日本大震災被災地からレジリエンスを再考する—』 (晃洋書房、2023 年 3 月 30 日発行)

次いで日本都市学会論文賞を選考委員会の結論通り、次の論文著者に授与することが決まりました。

◎中川雄大 「「場末」を記述する—1910~30 年代東京の周縁部に着目して」『関東都市学会年報』第 23 号

またデジタル出版物も今後各賞の対象となり得るので、その際の検討事項について協議しました。

■議題 4 年報事務局報告

近畿都市学会から、年報 57 号の会計報告と 58 号の編集方針について報告がありました。

■議題5 論文審査事務局報告

中四国都市学会より、2024～2025年度の論文審査委員は前回理事会で決まったがまだ委員長・副委員長は選出されておらず、最初の委員会で選出する見通しであること、また今後の審査スケジュールについて報告がありました。

■議題6 第71回大会について

東北都市学会から、第71回大会の準備状況について説明がありました。

■議題7 第72回大会について

九州都市学会から、2025年の第72回大会について、これまで長崎市における開催としていたが開催都市を佐賀市に変更し、佐賀大学を会場に開催する方向で計画しているとの報告がありました。

■議題8 会長候補者の選考

理事による会長候補者選挙を本年8月20日発送、8月31日締切りの郵便投票で行い、9月6日に開票した結果、山崎健会員(近畿)が第1回投票で有効票の過半数を得たことから、同会員を2025-26年度日本都市学会会長候補者(再任)として本年度総会に提案することとしました。

投票結果は、有権者数22、投票総数18、有効票17、山崎健12、井澤知旦2、北原啓司1、熊田俊郎1、増田聡1、でした。

■議題9 監事の選考について

これまでの慣例から、1期目の任期中である野々山和宏監事(東北)に再任をお願いし、もう1名を九州都市学会から推薦していただき総会に提案することになりました。

■議題10 その他

- (1) 本日の出欠状況について報告がありました。
- (2) 2025年4月から本部事務局が関東から中部に移転することに伴い、移行期間中の理事会構成について協議しました。
- (3) 関東都市学会から、ホームページをリニューアルし、他の地域都市学会会員も参加できる企画や公募情報なども掲載できるようになったので、該当する情報があれば関東都市学会事務局にお問い合わせいただきたいとの案内がありました。

以上